

未来を描く

No.8

生徒指導担当：王子明紀

寒くなってきました 防寒着・防寒具について

今週になって気温が急に下がりました。体調には気をつけてくださいね。今年度も暖房をつけて窓を閉め切って生活するというわけにはいきません。感染症拡大防止対策のひとつとして換気を徹底しなければなりません。今年度から導入したCO₂モニターを活用しながら、みんなで気をつけていきたいと考えています。

換気は大切です。しかし、みなさんが寒さで健康を害しては意味がありません。みなさんには、できるだけ快適な環境で学習を進めたり、生活したりしてほしいと願っています。本格的な冬を前に、防寒着・防寒具の使用方法について確認しておきます。気候にあわせて、自分で考えて、判断して健康管理をしてください。

4月に配布した「学校生活の約束」は、次のとおりです。

冬服 着用時	制服	4つのタイプから選択をする。セーラータイプは、ポロシャツ着用の必要なし 4つのタイプ⇒(上：ブレザー、セーラー 下：パンツ、スカートの組み合わせ)
	共通	① <u>第1ボタンは開放してもよい。</u> ② インナーの色は、無地の白・黒・紺・灰色・ベージュ ③ セーター・カーディガンは、気候に応じて着用することができます。色は、白・黒・紺・灰色に近いものにします。上着より袖や裾をだらしなく出さずに着用します。 ④ 上着を脱いでセーター・カーディガンのみを原則着用しません。 ⑤ ベージュまたは黒のタイツを着用することができます。 ⑥ 防寒着・防寒具(手袋、マフラー、ネックウォーマー、耳あて、ひざかけ)を気候に応じて着用することができます。派手でないものにします。→ 使用方法については別に連絡します。 ※ マナーを守って利用します。 ※ <u>大きな絵柄等が入ったものや、トレーナー、ジッパーのついていないパーカーは着用しません。</u> ⑦ <u>防寒着をブレザーの下に着用しません。</u>

⑥の使用方法について、この通信で説明をします。質問や要望があれば、担任の先生に伝えてくださいね。快適に生活できるようにしていきましょう。

例えば、屋内(室内)に入る時はコート類やマフラー類を脱ぐのが一般的な訪問のマナ

一です。一昨年度まで上野台中学校では登校をしたら防寒具，防寒着はすぐに脱ぐということになっていました。しかし，新型感染症拡大防止対策で換気を徹底すれば，室内であってもなかなか温度があがりません。そこで昨年度より授業中も含めて防寒着・防寒具の室内（教室，体育館等も含む）での利用を OK にしています。また，ひざかけの利用も OK になりました。（マフラー，手袋，耳あて，ネックウォーマーは登校後はずしましょう）

昨年度，現在の 2，3 年生は防寒着・防寒具のルール変更を理解するだけでなく，新しい生活様式における新たなマナーのあり方を考え，行動していました。特に，授業の取り組み方や人の話を聴くときの姿勢はこれまで以上に素晴らしくなった印象をもっています。たしかに寒さで集中力を欠いて授業に取り組んでも意味はないし，腕や足を組んで人の話を聴くほうが失礼です。今年度も，ルールの理解にとどまらず，マナーについて考えた行動がみられることを期待しています。よろしくお願ひしますね。

【お願ひ：みなさんに考えてほしいこと】

①通常のひざ掛けに加え，例えば長袖体操服（上）や，ウィンドブレーカー等の防寒着をひざかけとして利用することも OK です。ただし，ひざかけのような布状のものを肩からかけるのはやめてほしいと思います。⇒防寒具を防寒着としては使用しないでほしいのです。

②寒ければ，登校時の防寒具(コート，ウィンドブレーカーなど)をブレザーやセーラー上から着用して授業を受けることは OK です。ただし，ブレザーを脱いで防寒着を着用することはやめてほしいと思います。

昨年度のルール変更も，みなさんからの「寒いのでひざかけを OK にしてほしい」という声から始まりました。生活している中で，「これはどうかな？」と考えることがあれば，教えてくださいね。

まだまだ，「換気，手洗い，マスクの着用」や黙食，密の回避に取り組まなければなりません。きゅうくつな思いをさせています。しかし，こんな時だからこそみんなて意見を出しながら，少しでも快適な学校生活をつくっていききたいものです。

よろしくお願ひします。